



「写真撮影セミナーin室蘭」を終えて

稲場めぐみ (室蘭支部)

女性委員会道南ブロックの活動として、10月20日(土) 室蘭市中央町にて、写真撮影セミナーを開催しました。なかなか参加者が集まらず…定員10名のところ参加者4名と小規模開催となりましたが、少人数だからこそ、個別にアドバイスを頂くこともでき有意義な時間となりました。

講師は、TAKE-PHOTO-LIFE代表の和田武氏。和田さんは、建築物の竣工写真や住宅会社のチラシ制作をはじめ、各種撮影や写真教室をなさっている登別市在住のプロカメラマンです。前日は、苫小牧の住宅の竣工写真を撮影なさったとのことで、建築物の撮影経験に長けており、実践的なアドバイスを多く頂きました。

まずは座学からスタート。撮影の際のポイントや、実際の竣工写真などを見せて頂きながら、お話を伺いました。

建築写真の撮影は、カメラなどの機材が出来を左右するというので、プロの方のようなアングルの写真を撮るには、それなりの機材(お値段もそれなり)が必要になるそうです。ただ、機材をそろえて一定のテクニックを覚えれば、プロ並みの写真が撮れますとのことでした。そこまで行くには、私にはハードルが高いなあと…

気を取り直して?各自持参したカメラを使う際のアドバイスを頂きました。参加者が持参していた

カメラは、コンパクトデジカメ、ミラーレス一眼レフ、スマホでした。これらの活用法を伝授頂きました。何より驚いたのは、自分の持っているカメラの機能を知らないことでした。「ISO感度を調整しましょう」と言われても、どのボタンを押せばよいのかわからずでしたが、和田さんが参加者それぞれのカメラを触りながら教えてくださいました。こんなところにボタンがあったのかと驚きながら、アドバイス通り調整してみると、写る画像が見違えました。我が家の年季の入ったデジカメもまだまだ捨てたものじゃないと思ってしまうました。

座学の後には、外に出て撮影実習です。昭和の雰囲気漂うノスタジックな街並みを楽しみながら撮影を行い、建物外観を撮影する際の構図のとり方やフレームの中のゆがみ方などを教えて頂きました。プロの方は撮影後、ゆがみ補正や電線などの不要部分を削除するなどの画像加工を行い仕上げるそうです。

和田さん曰く、「上達のポイントは、良い写真のマネをすること。まずはそこから始めてみようと思った秋の一日でした。



試行錯誤の構図決め

『DIYセミナー』

新海 直美 (札幌支部)

2018年11月10日(土) Wall Deco Shop KABEYA (札幌市東区)にて輸入クロス貼りや塗装のDIYのワークショップを行いました。

最近ではテレビやSNSなどの影響でDIYが流行っており、お客様との打ち合わせでも話が出ることで増えてきました。お客様は、私がプロの人だからよく知っているだろうという体でお話をされるのですが、現場は職人さん任せですし、DIYとなると材料や方法が少々違うので回答に戸惑うこともありました。そこで、自ら体験しておけば今後の仕事にも役に立つのでは?との思いから開催した次第です。

壁紙貼りは、輸入のクロスを使っただけのワークショップです。海外のものは色や柄が素敵なものも多く、見ていだけでワクワクします。後で剥がすこともできる糊で、ローラーや刷毛、へらなどを使い貼っていきます。幅が50cmほどのものを柄合わせして貼っていくのですが、やってみると意外と簡単に手軽にできる印象。これで、お部屋の雰囲気を変えられるならDIYが流行るのも納得です。

塗装は、金色の下地を塗ったガラスに、茶系の塗料をのせてゆき、錆のようにみせたエイジング加工を施すのですが、錆がどのようにしているかをちゃんとわかっていないと表現もできず…。日々の観察眼が必要と感じました。



壁紙貼り体験中